

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	①	理念の共有と実践が出来ていない	全職員が理念を共有でき、地域密着型施設の意義を理解できる。	朝礼、全体会議などでの理念の唱和、ミーティング等とおして理念の共有を図るよう努める	6ヶ月
2	⑬	防火、災害対策の不十分さ	防災マニュアルの作成、年二回の防火訓練の定着化。自前での防災においての地域貢献ができる体制を作る	防火訓練には夜間専門員、愛弄園、近隣住人の力を借りて充実したものを目指しつつ、防災マニュアルの制定および独自の備蓄品(備蓄食材、モバイルバッテリー等)を備え近隣に呼び掛けたりして災害対策を行っていくように努める	12ヶ月
3	⑩	人権教育の不十分さ	人権教育を通じて制度の理解、活用が出来る	令和二年度より内部研修、および外部研修を計画。それを通し職員の意識向上、スキルアップに努める	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。